



物理学第二教室 談話会

「ひとみ」衛星のX線観測から何がわかったか

大橋 隆哉 氏
(首都大学東京理工学研究科)

日時:2017年12月22日(金)

13:30 ~ 15:00

場所:理学研究科5号館525号室

(第4講義室)

(Room 525, Building #5)

概要:

「ひとみ」衛星は2016年2月に打ち上げられ、その後約1ヶ月で観測を終えてしまいましたが、搭載されている検出器はマイクロカロリメータをはじめとして新しい技術が多く盛り込まれており、X線精密分光と硬X線観測を組み合わせることで、X線天文学の新しい扉を開く計画として大きな期待が持たれていた。

衛星立ち上げの期間にペルセウス座銀河団の観測を行い、高温ガスの運動状態をはじめで決定する、あるいはこれまで測定が難しかった鉄属元素の存在量を正確に決めるなど新しい結果を得ることができた。

本セミナーでは「ひとみ」衛星計画、その観測装置、初期観測で得られた成果についてわかりやすく紹介する。